

## 治癒証明書について

保育園は抵抗力の弱い産休明けの0歳児から5歳児までの乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行はできるだけ防ぐことで、子どもたちが一日快適に生活できるように願っています。流行時には、保育園でも体調に気をつけて保育しますが、感染症の疑いがある時には速やかに保護者の方に連絡致しますので、早めの受診をお願いします。

(保育所における感染症対策ガイドラインに基づいた登園停止の対応を行っております)

(第二種) 治癒証明書を提出して下さい。

病名	主な症状	感染しやすい期間	出席停止期間
インフルエンザ	カゼより顕著な発熱 頭痛・関節痛・咽頭痛	症状が有る期間(発症前24時間 から発病後3日程度までが最も感 染力が強い)	発症後、最低5日を経過し、 かつ解熱した後3日を経過するまで。
百日咳	のどの発赤 特有の激しい咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現 後3週間を経過するまで	特有の咳が消失し、全身状態が良好である こと(抗菌薬を決められた期間服用する。 7日間服用後は医師の指示に従う)
麻疹 (はしか)	全身の発疹 発熱・咳・鼻水	発症1日前から発しん出現後の 4日後まで	解熱後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳下腺の腫脹 圧痛・発熱	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺の腫脹が消失するまで
風疹 (3日はしか)	発熱・発疹 頸部リンパ節腫脹	発しん出現の前7日から後7日間くらい	発疹が消失するまで
水痘 (みずぼうそう)	発熱・水疱性皮疹 及び粘膜疹	発しん出現1～2日前から痂皮形 成まで	すべての発疹が痂皮化するまで
咽頭結膜熱 (プール熱)	発熱・結膜炎 咽頭炎	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
結核	カゼに似た症状 咳・痰・発熱・胸痛	感染者から直接排菌がある間	感染のおそれが無くなってから
腸管出血性 大腸菌感染症	激しい腹痛 下痢 血便	便中に菌を排出している間	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が 終了し、48時間をあけて連続2回の検便に よって、いずれも菌陰性が確認されたもの
流行性角結膜炎	涙・目やに・結膜の充血	充血・目やに等 症状が出現した数日 間	感染の恐れが無いと認められた後
急性出血性結膜炎	強い目の痛み・結膜出 血・結膜充血・眼瞼浮腫	症状軽減しても感染力が残る	感染の恐れが無いと認められた後
侵襲性髄膜炎菌感染症	頭痛・発熱・痙攣・意識障害	症状が軽快するまで	感染の恐れが無いと認められた後

(第三種) 治癒証明書は不要ですが、必ず受診し登園届を提出して下さい。

病名	主な症状	感染しやすい期間	出席停止期間
突発性発しん	高熱・解熱とともに発疹・軟便	発熱中は感染力がある	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと
溶連菌感染症	発熱・発疹 のどの痛み	適切な抗菌治療を開始する 前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
手足口病	手・足・口腔内に 水疱 発熱	手足や口腔内に水疱・潰瘍が 発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・腫瘍の影響がなく、普 段の食事がとれること
伝染性紅斑(りんご病)	頬の紅斑	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
ヘルパンギーナ	突然の発熱 咽頭の発疹 水疱	急性期の数日間(便の中に1か 月程度ウイルスを排泄してい るので注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・腫瘍の影響がなく、普 段の食事がとれること
マイコプラズマ 感染症	長引く咳 発熱 下痢 嘔吐	適切な抗菌治療を開始する 前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
感染性胃腸炎 (ノロ、ロタ、アデ ノウイルス等)	激しい嘔吐・下痢 発熱	症状のある間と、症状消失後1週 間(数週間ウイルスを排泄してい るので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事が とれること
RSウイルス感染症	発熱・咳・喘鳴・呼吸困 難	呼吸器症状のある間	他人への感染の恐れがないと医師が認めるまで
水いぼ	丸い光沢のあるいぼ	いぼがつぶれて内容物が出た時	特になし
とびひ	虫刺され・掻き壊し傷に黄 色ブドウ球菌などが感染。	患部を覆って直接触れない	特になし 範囲が広い場合、休んだ方が良 いこともある。
帯状疱疹	帯状の水疱や発疹が出る	発しん出現1～2日前から痂皮 形成まで	すべての発疹が痂皮化するまで
アタマジラミ	頭のかゆみ。シラミの卵 が増える。	卵や成虫が付着しているとき	駆除を開始していること。